

< 基準値一覧 >

平日日勤帯

★は緊急・至急検査における所要時間を示す。(受入不可検体で再提出となったものは除く)

【生化学・免疫検査】

* JCCLS 共用基準範囲

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
総蛋白	0.2	血清	ビウレット法	6.6～8.1*	g/dL	★30-60 60-240	
アルブミン	0.2	血清	BCP 改良法	4.1～5.1*	g/dL		
T-Bil	0.2	血清	バナジン酸酸化法	0.40～1.50*	mg/dL	★30-60 60-240	
D-Bil	0.2	血清	バナジン酸酸化法	0.00～0.40	mg/dL		
ALP(IFCC)	0.2	血清	IFCC 法	38～113*	U/L		
AST	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	13～30*	U/L		
ALT	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：10～42* 女：7～23*	U/L		
γ-GT	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：13～64* 女：9～32*	U/L		
LD(IFCC)	0.2	血清	IFCC 法	124～222*	U/L		
CK	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：59～248* 女：41～153*	U/L		
ChE	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：240～486* 女：201～421*	U/L		
AMY	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	44～132*	U/L		
P-AMY	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	14～53	U/L		
CRE	0.2	血清	酵素法	男: 0.65～1.07* 女: 0.46～0.79*	mg/dL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
eGFR	0.2	血清	計算	>90	mL/min/ 1.73m ²	★30-60 60-240	
UN	0.2	血清	ウレアーゼ GLDH 法 (ICDH)	8.0～20.0*	mg/dL		
UA	0.2	血清	ウリカーゼ POD 法	男：3.7～7.8* 女：2.6～5.5*	mg/dL		
ナトリウム	0.2	血清	イオン選択電極法	138～145*	mmol/L		
カリウム	0.2	血清	イオン選択電極法	3.6～4.8*	mmol/L		
クロール	0.2	血清	イオン選択電極法	101～108*	mmol/L		臭素やヨウ 素の濃度が 高い場合偽 高値となる
カルシウム	0.2	血清	キレート法 (NM- BAPTA 法)	8.8～10.1*	mg/dL		
無機リン	0.2	血清	酵素法	2.7～4.6*	mg/dL		
マグネシウム	0.2	血清	キシレンブルー法	※1	mg/dL		
血清鉄	0.2	血清	ニトロソ PSAP 法	40～188*	μ g/dL		
UIBC	0.2	血清	ニトロソ PSAP 法	男：170～250* 女：180～270*	μ g/dL		
TIBC	0.2	血清	計算	男：253～365 女：246～410	μ g/dL		
総コレステ ロール	0.2	血清	コレステロール酸化 酵素法	142～248*	mg/dL		
HDL-C	0.2	血清	選択的抑制法	男：38～90* 女：48～103*	mg/dL		
LDL-C	0.2	血清	選択的可溶化法	65～163*	mg/dL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
TG (中性脂肪)	0.2	血清	酵素法(遊離グリセ ロール消去)	男：40～234* 女：30～117*	mg/dL	★30-60 60-240	
ケトン体	0.2	血清	酵素サイクリング法	0-74	μ mol/L		
血糖	0.3	血漿	GOD 電極法	空腹時 73～109*	mg/dL	★20-60 30-120	
HbA1c	1.0	全血	HPLC 法	4.9～6.0*	%		
アンモニア	0.5	全血	ドライケム	12～66	μ g/dL	10-30	氷冷で直ちに 提出
血清浸透圧	0.3	血清	氷点降下法	275-290	mOsm	★30-60 60-240	
CCR	各 0.2	血清 尿	酵素法	91～130	mL/min/ 1.73m ²		尿は全量 提出
24 CCR	各 0.2	血清 蓄尿	酵素法	91～130	mL/min/ 1.73m ²		蓄尿の一部 尿量必須
U-AMY	0.2	尿	JSCC 標準化対応法	0-585	U/L		
NAG	0.2	尿	MPT-NAG 基質法	≤11.5	IU/L		
尿タンパク (随時尿)	0.2	尿	ベンゾニウムクロラ イド法 (岩田法)	<15	mg/dL		
尿タンパク (1 日量)	0.2	蓄尿	ベンゾニウムクロラ イド法 (岩田法)	<140	mg/day		蓄尿量を必ず 記載する
尿中アルブミ ン(随時尿)	0.2	尿	免疫比濁法	<30	mg/L		
尿中アルブミ ン(随時尿) (CRE 補正)	0.2	尿	免疫比濁法	<30	mg/g.Cr		
尿中アルブミ ン(1 日量)	0.2	蓄尿	免疫比濁法	<30	mg/L		蓄尿の一部 尿量必須
尿中アルブミ ン(1 日尿) (CRE 補正)	0.2	蓄尿	免疫比濁法	<30	mg/g.Cr		蓄尿の一部 尿量必須

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
U-Na	0.2	尿	イオン選択電極法	125～250	mmol/L/ day	★30-60 60-240	
U-K	0.2	尿	イオン選択電極法	50～100	mmol/L/ day		
U-Cl	0.2	尿	イオン選択電極法	70～250	mmol/L/ day		
U-Ca	0.2	尿	キレート法 (NM-BAPTA 法)	100～300	mg/day		
U-IP	0.2	尿	酵素法	400～800	mg/day		
U-Mg	0.2	尿	キシレンブルー法	72.9～121.5	mg/day		
U-CRE	0.2	尿	酵素法	0.5～1.5	g/day		
U-UN	0.2	尿	ウレアーゼ GLDH 法 (ICDH)	6.5～13.0	g/day		
U-UA	0.2	尿	ウリカーゼ POD 法	0.4～0.8	g/day		
尿浸透圧	0.3	尿	氷点降下法	50～1300	mOsm		
尿-GLU	0.3	尿	GOD 電極法	2～20	mg/dL		
亜鉛	0.2	血清	直接法 (5-Br-PAPS)	80.0～130.0	μ g/dL		
PreALB	0.2	血清	免疫比濁法	20～40	mg/dL		
乳酸	0.2	血漿	酵素法	4.5～19.8 0.5～2.2	mg/dL mmol/L		採血後氷冷 直ちに提出
心筋トロポニン I	0.5	血清	CLEIA 法	0.0～0.02	ng/mL		
ミオグロビン	0.5	血清	CLEIA 法	≤68.3	ng/mL		
CK-MB 蛋白	0.5	血清	CLEIA 法	≤3.3	ng/mL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
ICG	各 0.5	血清	比色法	0-10	%	★20-40 30-60	投与後の採 血は直ちに 提出
ICG-K	各 0.5	血清	比色法	0.168～0.206		30-120	
RF	0.2	血清	ラテックス免疫 比濁法	< 15	IU/mL	★30-60 60-240	
CRP	0.2	血清	ラテックス比濁法	0.00～0.14*	mg/dL		
ASO	0.2	血清	ラテックス凝集法	≤ 160	IU/mL		
IgA	0.2	血清	免疫比濁法	93.0～393.0*	mg/dL		
IgG	0.2	血清	免疫比濁法	861.0～1747.0*	mg/dL		
IgM	0.2	血清	免疫比濁法	男：33.0～ 183.0* 女：50.0～ 269.0*	mg/dL		
C3	0.2	血清	免疫比濁法	73.0～138.0*	mg/dL		
C4	0.2	血清	免疫比濁法	11.0～31.0*	mg/dL		
CH50	0.2	血清	リポソーム免疫 測定法	31.6～57.6	U/mL		
フェリチン	0.2	血清	ラテックス凝集法	男：14.4～303.7 女：4.1～120.2	ng/mL		
β ₂ -マイクログ (血清)	0.2	血清	ラテックス凝集法	< 2.00	mg/L		
β ₂ -マイクログ (尿)	0.2	尿	ラテックス凝集法	< 0.150	mg/L		
RPR	0.2	血清	ラテックス比濁法	< 1.0	R.U.		
TPLA	0.2	血清	ラテックス比濁法	< 10.0	T.U.		
HBs 抗体	0.2	血清	ECLIA 法	< 10.0	IU/L	★60-90 90-240	

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
HBs 抗原	0.3	血清	ECLIA 法	<0.05	IU/mL	★60-90 90-240	
HBc 抗体	0.2	血清	ECLIA 法				
HCV 抗体	0.3	血清	ECLIA 法	<0.9	COI		
HIV (簡易法)	0.3	血清	イムノクロマト法	(-)			
HIV1/2 抗原抗体	0.3	血清	ECLIA 法	<1.0	COI		
TSH	0.3	血清	ECLIA 法	0.61~4.23	mIU/L		
FT3	0.2	血清	ECLIA 法	2.30~4.00	pg/mL		
FT4	0.2	血清	ECLIA 法	1.10~1.80	ng/dL		
CEA	0.2	血清	ECLIA 法	<4.3	ng/mL		
AFP	0.2	血清	ECLIA 法	<7.0	ng/mL		
CA19-9	0.2	血清	ECLIA 法	<37.0	U/mL		
CA15-3	0.2	血清	ECLIA 法	<25.0	U/mL		
CA125	0.2	血清	ECLIA 法	<35.0	U/mL		
SCC	0.2	血清	ECLIA 法	0.6~2.5	ng/mL		
T-PSA	0.2	血清	ECLIA 法	<3.5	ng/mL		
HS-PSA (高感度)	0.2	血清	ECLIA 法	<3.5300	ng/mL		
KL-6	0.2	血清	CLEIA 法	105.3~401.2	U/mL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
sIL-2r	0.2	血清	CLEIA 法	121.0～613.0	U/mL	★60-90 90-240	
LH	0.2	血清	CLEIA 法	※2	mIU/mL		
FSH	0.2	血清	CLEIA 法	※3	mIU/mL		
プロラクチン	0.2	血清	CLEIA 法	※4	ng/mL		
プロゲステロン	0.2	血清	CLEIA 法	※5	ng/mL		
エストラジオール	0.2	血清	CLEIA 法	※6	pg/mL		
シスタチン C	0.2	血清	ラテックス凝集 比濁法	0.61～0.95	mg/L	★30-60 90-240	
BNP	0.5	血漿	CLEIA 法	< 18.4	pg/mL		氷冷で提出
β-HCG	0.5	血清	CLEIA 法	※7	mIU/mL	★60-90 90-240	
HCG	0.5	血清	CLEIA 法	※8	mIU/mL		
尿中 HCG	0.5	尿	CLEIA 法	※9	mIU/mL		
インシュリン (IRI)	0.2	血清	CLEIA 法	2.1～19.0	μ U/mL		
コルチゾール	0.2	血清	ECLIA 法	3.0～19.6 (1)午前 6 時～10 時 : 7.07～19.6μg/dL (2)午後 4 時～8 時 : 2.96～9.77μg/dL	μ g/dL		
C-ペプチド	0.2	血清	CLEIA 法	0.74～3.18	ng/mL		
尿中 C-ペプ タイド	0.2	蓄尿	CLEIA 法		μ g/day		蓄尿の一部 尿量必須
グリコアルブ ミン	0.2	血清	酵素法	11～16	%	★30-60 90-240	
VB-12	0.2	血清	ECLIA 法	197～771	pg/mL	★60-90 90-240	

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
葉酸	0.3	血清	ECLIA 法	3.89-26.8	ng/mL	★60-90 90-240	
NT-proBNP	0.2	血清	ECLIA 法	< 125	pg/mL		
MPO-ANCA	0.2	血清	CLEIA 法	< 3.5	U/mL		
PR3-ANCA	0.2	血清	CLEIA 法	< 3.5	U/mL		
抗 ds-DNA 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 12	IU/mL		
抗 ss-DNA 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 25	AU/mL		
抗 SS-A 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 SS-B 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 Sm 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 RNP 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 Scl-70 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗セントロメ ア抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 Jo-1 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗ミトコンド リア抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 7	Index		
MMP-3	0.2	血清	ラテックス免疫 比濁法	男 36.9-121 女 17.3-59.7	ng/mL	★30-60 60-240	
プロカルシト ニン	0.2	血清	ECLIA 法	< 0.046	ng/mL	★60-90 90-240	
エタノール	0.2	血清	比色法	< 50	mg/dL	★30-60 60-240	

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
テイコプラニン	0.2	血清	ラテックス免疫 比濁法	10-30	μ g/mL	★30-60 60-240	採血時間、 投薬時間を 記載
ジゴキシシン	0.3	血清	ECLIA 法	0.5～1.1	ng/mL		
バンコマイシン	0.3	血清	ラテックス法	10-20	μ g/mL		
バルプロ酸	0.3	血清	酵素法	40～125	μ g/mL		
フェノバルビ タール	0.3	血清	ラテックス法	10～35	μ g/mL		
カルバマゼピ ン	0.3	血清	ラテックス法	4～12	μ g/mL		
フェニトイン	0.3	血清	ラテックス法	5～20	μ g/mL		
テオフィリン	0.2	血清	ラテックス法	5-20	μ g/mL		
メトトレキサ ート	0.3	血清	酵素法	(1) 24 h <10.0 (2) 48 h <1.0 (3) 72 h <0.1	μ mol/L		
シクロスポリ ン	0.3	全血	ECLIA 法		ng/mL		
タクロリムス	0.3	全血	ECLIA 法		ng/mL		
血液ガス分析	0.5	全血	電極法	※10		★10	
SARS-CoV2 抗原	0.6	ぬぐい 抽出液	CLEIA	< 1.0	pg/mL	★60-90	
インフルエン ザ抗原	0.6	ぬぐい 抽出液	CLEIA	< 1.0	COI		
SP-D	0.1	血清	ラテックス 免疫比濁法	< 109.8	ng/mL	★60-90 90-240	

β -D-グルカン	0.1	血漿	発色合成基質法	<20.0	pg/mL	★90-240	
ACTH	0.1	血漿	CLEIA 法	8.7～61.5	pg/mL	★60-90 90-240	
リパーゼ	0.1	血清	比色法	13～60	U/L	★60-90 90-240	
PIVKA-II	0.1	血清	CLEIA 法	≤28.0	mAu/mL	★60-90 90-240	

※1 Mg

項目	基準範囲 (mg/dL)
2～4 日	1.51～2.21 mg/dL
5 ヶ月～6 歳	1.70～2.31 mg/dL
6～12 歳	1.70～2.09 mg/dL
12～20 歳	1.70～2.21 mg/dL
成人	1.60～2.60 mg/dL
60～90 歳	1.60～2.41 mg/dL
90 歳以上	1.70～2.31 mg/dL

※2 LH の参考基準範囲

	参考基準範囲 (mIU/mL)
女性 非妊婦 卵泡期	1.1～12.1
排卵期	2.0～39.7
黄体期	0.7～21.6
閉経後	8.4～67.7
男性	0.52～7.8

※3 FSH の参考基準範囲

	参考基準範囲 (mIU/mL)
女性 正常月経 卵泡期	2.6～11.9
排卵期	2.8～15.6
黄体期	1.4～9.6
閉経後	13.3～157.1
男性	1.3～17.0

※4 プロラクチンの参考基準範囲

	参考基準範囲 (ng/mL)
女性	4.4～20.6
男性	3.3～16.2

※5 プロゲステロンの参考基準範囲

		参考基準範囲 (ng/mL)
女性	卵胞期	≤ 1.00
	黄体期	≤ 15.5
	閉経後	≤ 0.73
	妊娠前期	2.16～54.89
	妊娠中期	18.01～82.26
	妊娠後期	60.00～316.52
男性		≤ 0.88

※6 エストラジオールの参考基準範囲

		参考基準範囲 (pg/mL)
女性	卵胞期	15.6～186.4
	排卵期	20.9～267.7
	黄体期	14.6～512.6
	閉経後	$< 2.0 \sim 47.3$
	妊娠前期	448～3028
	妊娠中期	707～26743
	妊娠後期	9500～40542
男性		8.5～48.0

※7 β HCG の参考基準範囲

		参考基準範囲 (mIU/mL)
女性	成人女性	< 0.5
	妊娠 4～7 週間	1,930～167,000
	妊娠 8～11 週間	25,200～181,000
	妊娠 12～20 週間	6,780～142,000
	妊娠 21～37 週間	1,130～142,000
男性		< 0.5

※8 HCG (血清) の参考基準範囲

		参考基準範囲 (mIU/mL)
女性	成人女性	< 0.5
	妊娠 4～7 週間	2,150～167,000
	妊娠 8～11 週間	25,600～180,000
	妊娠 12～20 週間	7,310～136,000
	妊娠 21～40 週間	1,170～143,000
男性		< 0.5

※9 HCG（尿）の参考基準範囲

		参考基準範囲（mIU/mL）
女性	成人女性	< 2. 5
	妊娠 4～7 週間	10～33, 400
	妊娠 8～11 週間	117, 000～326, 000
	妊娠 12～20 週間	1, 100～81, 100
	妊娠 21～40 週間	927～46, 200
男性		< 2. 5

※10 血液ガス分析の基準範囲

		基準範囲
p H		7. 35～7. 45
p CO ₂		35～45 mm Hg
p O ₂		80～100 mm Hg

【血液検査】

* JCCLS 共用基準範囲

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要時間 (分)	備考
RBC	2.0	全血 体腔液	シーフロー DC 検出法	男：4.35～5.55* 女：3.86～4.92*	10 ⁶ /μL	★30～60 30～240	
WBC			フローサイトメト リー法	3.3～8.6*	10 ³ /μL		
HGB			SLS-HGB 法	男：13.7～16.8* 女：11.6～14.8*	g/dL		
HCT			赤血球パルス波高 値検出法	男：40.7～50.1* 女：35.1～44.4*	%		
PLT			シーフロー DC 検出法	15.8～34.8*	10 ⁴ /μL		
MCV			計算法	83.6～98.2*	fL		
MCH			計算法	27.5～33.2*	pg		
MCHC			計算法	31.7～35.3*	g/dL		
RDW			ディスクリミネー ターで解析	11.6～16.5	%		
PCT			血小板粒度分布か ら解析	0.151～0.327	%		
MPV			計算法	7.4～10.9	fL		
PDW			ディスクリミネー ターで解析	12.0～16.5	%		
網赤血球			フローサイトメト リー法	5～25	‰		
末梢血液像	2.0	全血 体腔液	フローサイトメト リー法	好塩基球：0.0～2.5 好酸球：0.0～8.5 好中球：38.5～80.5 リンパ球 16.5～49.5 単球：2.0～10.0	%	1～2 日	単球：測定装置 の違いにより夜 間・休日の測定 値が平日日勤帯 よりも低値 (10-20%程 度) となる場合 があります。

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要時間 (分)	備考
PT	1.8	血漿	凝固時間法 (Quick 一段法)	% : 70～130	%	★30～75 30～240	
				秒 : 9.8～12.1	秒		
				INR : 0.90～1.10			
APTT			凝固時間法 (Langdell 法)	24.0～34.0	秒		
FIB			トロンビン凝固 時間法	200～400	mg/dL		
アンチトロン ビン活性			合成基質法	80～130	%		
FDP			(ラテックス) 免疫比濁法	5.0 µg/mL 以下	µ g/mL		
D ダイマー (DDU)			(ラテックス) 免疫比濁法	1.0 µg/mL (DDU) 以下	µ g/mL		
コラーゲン 1.0 (血小板凝集 能)	9.0 (4.5 mL×2 本)	血漿	透過光法	50 %以上 明確な基準値が設定 されていないため、 参考基準値となる。	%	60～120	前日までに 要予約 当日オーダ の場合は検 体 提 出 前 TEL (検体受付 13:00 まで) 空腹時採血 厳守
コラーゲン 5.0 (血小板凝集 能)							
ADP1.0 (血小板凝集 能)							
ADP10.0 (血小板凝集 能)							
赤沈 1 時間値 2 時間値	1.1	全血	Westergren 変法	1 時間値 : 男 : 1～10 女 : 2～15 2 時間値 : 明確な基 準範囲は設定されて いない。	mm	60～120	臨床的に重 要なのは1 時間値であ り、2 時間 値は1 時間 値の確認程 度の意味合 いとなる。
骨髓検査	0.5	骨髓	目視		%	1～2 日	前日までに 要予約
ペルオキシ ダーゼ染色							
PAS 染色							
エステラー ゼ二重染色							
Fe 染色							
NAP 染色	0.05	全血	目視 (朝長法)		% (陽性率) 及び 陽性指数 (スコア)	当日	直接採血
好酸球		鼻汁 喀痰等	目視	(-) ～ (3+)		1～2 日	乾燥固定標 本または生 検体で提出

【一般検査】

検査項目		検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
尿 定 性	比重	12	新 鮮 尿	屈折率法 試験紙法	1.009～1.029		★30～60 240 ※午前 は外 来 優 先 と な る。	比重試験紙法は 造影剤使用時 原理の違いによ り、屈折法と試 験紙法で結果の 乖離の可能性あ り 随時尿 採尿後は 速やかに提出 尿沈渣は目視が ある場合は 240 分
	pH			試験紙法	弱酸性			
	蛋白			試験紙法	(－)			
	糖			試験紙法	(－)			
	ケトン体			試験紙法	(－)			
	潜血			試験紙法	(－)			
	ウロビリノーゲン			試験紙法	(+/-)～(1+)			
	ビリルビン			試験紙法	(－)			
	亜硝酸塩			試験紙法	(－)			
	白血球反応			試験紙法	(－)			
	U-CRE 半定量			試験紙法				
	P/C 比			計算	<150	mg/gCr		
	ALB			試験紙法		mg/L		
	A/C 比			計算	<30	mg/gCr		
尿沈渣			フローサイトメ トリー法/鏡検	※11				
尿蛋白定量		2	蓄尿	ベンゾニウムク ロライド法 (岩田法)	<150	mg/day	★30-60 60-240	蛋白定性 (1+) 以上は自動的に 定量

検査項目		検体 量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
髄液	細胞数	2.0	髄液	鏡検	※12	/μL	★30～60 90	採取後 直ちに提出
	リコール 蛋白定量			ベンゾニウムクロライド法(岩田法)	※13	mg/dL		
	リコール 糖定量			GOD 電極法	50～75 (血糖値が 正 常 の 場 合)	mg/dL		
	リコール クロール			イオン選択電極 法	118～130	mmol/L		
	リコール ALB			免疫比濁法	9～30	mg/L		
	Li 乳酸			酵素法	≤25	mg/dL		
	Li IgA			免疫比濁法	0.1～0.5	mg/dL		
	Li IgG			免疫比濁法	1.0～3.0	mg/dL		
	Li IgM			免疫比濁法	≤0.1	mg/dL		
穿刺 液	比重	2.0	穿刺液	屈折法			★30～60	
	蛋白			屈折法			240	
関節液		2.0	関節液	鏡検	結晶なし		1 日	採取後、速やかに 提出 休日・夜間 受取不可
便	潜血 RPHA		便	免疫法	(－)		★30 240	採取後 7 日以内
	ズダンⅢ染色	拇指 頭大	便	ズダンⅢ染色法	(－)		★30～60	
	寄生虫卵 直接法			直接塗抹法	(－)		当日	新鮮な状態が 望ましい
	寄生虫卵 集卵法			ホルマリンエーテル法	(－)		1～2 日	
	赤痢アメーバ			直接塗抹法 ホルマリンエーテル法	(－)		1～2 日	採取後、25℃以上に 保ち、1 時間以内に 提出。但し、粘血便 の場合は直ちに提出
精液検査			精液		※14		当日	要予約。採取後 1 時間以内に 提出
CAPD-細胞数		2.0	CAPD 廃液	鏡検		/μL	★30～60 90	採取後 直ちに提出

※11 尿沈渣基準値

項目	基準範囲
赤血球	4 個/HPF 以下
白血球	4 個/HPF 以下
細菌	(－)

※12 髄液細胞数基準値

年齢	参考基準値
新生児	20/ μ L 以下
乳児	10/ μ L 以下
乳児以降	5/ μ L 以下

※13 髄液蛋白の年齢別基準値

年齢	基準値 (mg/dL)
生後 7 生日	35～180
30 生日	20～150
～90 生日	20～100
～1 歳	20～60
2 歳～14 歳	15～40
15 歳～	10～35

※14 精液の基準値

項目	参考基準値
液量	2.0 mL 以上
液化	あり (complete)
色調	乳白色 (grey opalescent)
運動率	50 %以上
RoundCell	1×10^6 /mL 未満
正常形態率	15 %以上